

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課

担当名：体験活動・キャリア教育推進担当

内線：6772

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B42	定時制高校生のためのチャレンジ雇用推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費		
事業期間	平成27年度～平成29年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			宣言項目	06	次代を担う人財育成		
					分野施策	030620	確かな学力と自立する力の育成			
1 事業の概要				5 事業説明						
<p>定時制高校生が就労に向けた集団宿泊生活や体験活動、県内の協力企業で正規雇用も見据えたアルバイト体験を実施する。そのことによって、継続的な就労への意欲や社会人として自立できる力を育み、定時制高校生の正規雇用率の向上を図るとともに、人口減少、少子高齢化社会における地域を支える人材を育成する。</p> <p>(1) 集団生活での就労に向けた体験活動 △218千円 入札等により見込みを下回ったことによる減</p> <p>(2) 県内協力企業におけるアルバイト体験 △550千円 報酬等が見込みを下回ったことによる減</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 就労に向けた体験活動 1,319千円</p> <p>(イ) 県内協力企業におけるアルバイト体験 577千円</p> <p>(イ) 協力企業の開拓や生徒とのマッチング</p> <p>(イ) 県内の協力企業と連携したチャレンジ雇用の実施</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>定時制高校生の就労体験の受入に協力できる企業を開拓する。受入企業は、定時制高校生の勤労観や職業意識形成に対し教育的配慮ができる企業とする。そして、学校から推薦を受けた生徒について、協力企業とのマッチングを行い、アルバイト体験に従事させる。</p> <p>引きこもりがちであるなどの課題を抱え、アルバイト体験に至らない生徒に対しては、他者との関係性を学ぶとともに、勤労観を養い、自分の内面や生活を見つめ直す機会とするため、集団宿泊生活や農業体験、ソーシャルスキルトレーニングなどの就労に向けた体験活動を実施する。</p> <p>これらの体験を通し、定時制高校生の正規雇用に対する意識を高め、卒業後の正規雇用に向け必要な資質・能力を身に付けさせる。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 定時制高校生の新規卒業者の正規雇用率の向上</p> <p>イ 人口減少、少子高齢化社会における地域を支える人材の育成</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>埼玉県経営者協会や県と包括的連携協定を締結している企業と連携し、企業開拓コーディネーター及び県教育局、各定時制高校の教職員が協力して、定時制高校生のアルバイト体験やその後の正規雇用を推進する。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>(1) 集団生活での就労に向けた体験活動：入札等により見込みを下回ったことによる減額。</p> <p>(2) 県内協力企業におけるアルバイト体験：報酬等が見込みを下回ったことによる減額。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (一部 国1/3・県2/3)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△768	国庫支出金	△68					△700	1,128	
現計額	1,896		359					1,537		